

2025年度

学校名 横浜市立西富岡小学校

対象学年 第5学年

① 学習指導案

プログラム	No.5 「地域カルタを作ろう」
単元名 (全50時間)	「まちカードで魅力発信！にしとみの良さ伝え隊」
学習のねらい	にしとみカードを作るために自分たちのまちを調査する活動を通して、知っているようで知らないまちの魅力を再発見する。そして、まちの魅力とこの町で暮らす人々とのつながりに気付くことで、このまちへの愛着を高める。自分たちもこの町の一員だという意識を高め、町のために自分たちは何ができるのか考えようとする力を身に付ける。
学習内容	1 学習計画をたてる 2 まちの人々へインタビューすることで、まちの魅力を見つける 3 まちの魅力を「にしとみカード」にする 4 「にしとみカード」を使って、まちの魅力を伝える
参考資料	グーグルマップ 学区地図
準備品	町カード見本品
実施場所等	西富岡学区 西富岡小学校

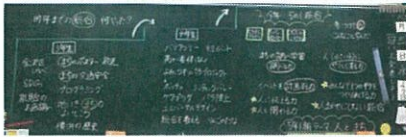
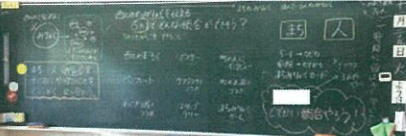

学習の流れ

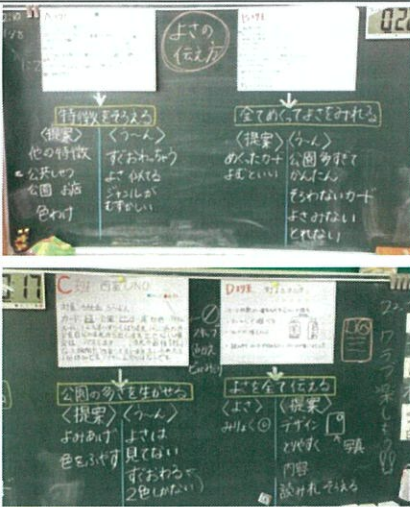



時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○活動計画をたてるために、5年生の総合で取り組みたい内容を出し合う。 ○「町と関わる」というテーマに焦点を当て、「町カード作り」にゴールを設定する。	・子ども達の前年度までの学びを振り返るように声をかけ、「まち」への興味を高める。 ・見通しをもって活動できるようにゴールを明確にする。	◆見通しをもって活動しようとしている。
2	○グループごとに町のよさを出しあう。 ○町のことを知るために、地域の人にインタビューする。 ○グループごとに町のよさを整理する。	・自分たちの経験や知識から、まちのよさを話しあうように声をかける。 ・人とつながりがもてるように、視点を明確にしたワークシートを活用する。 ・付箋を活用し、「人・もの・こと」のグループに分け、色ごとに整理ができるようにする。	◆町の人たちへのインタビューを通して、西富岡の町のよさを見つけることができる。

3	<p>○町カードを作る。</p> <p>○町カードで遊んで、より魅力が伝わる内容に工夫する。</p> <p>○町カードを使って地域の人と交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人・もの・こと」に分けて町カードを考えられるようにする。</li> <li>・町の魅力を伝えるという視点からぶれないように、常にゴールを明確にしておく。</li> </ul>	<p>◆町のよさが伝わるカードを作っている。</p>
4	<p>○活動をふり返し、まちの魅力について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの活動を振り返り、「どんな魅力を見つけられたか」「魅力を伝えられたか」など振り返るようにする。</li> </ul>	<p>◆自分たちの町には様々な魅力があることに気付いている。</p>

## ② 事業実施報告書詳細

学校名 西富岡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	<p>去年までの総合の授業を想起し、今年の総合の学習のテーマを設定する。</p>		<p>「人」と「まち」をテーマにして、去年知った地域のよさを発信していきたいな。</p>
1	教室	<p>魅力を伝えるための活動を考え、意見を出し合う。</p>		<p>「人」と「まち」をテーマにするなら、まちカードのようなものを作りたいな。</p>
3	教室	<p>「カナかる」などのゲームを体験し、カードゲームの形を話し合う。</p>		<p>カルタの形だと、伝わりやすいね。一種類のゲームだけでなく、色々な遊び方ができるトランプのようなカードにもできないかな。</p>

1	教室	ゲームのアイデアを出し合って、ルールを決める。		カルタだけでなく、神経衰弱やUNOのような遊び方もできると、もっと楽しんでもらえそうだね。ゲームの方向性がまとまったから、取材にいきたいな。担当場所を決めよう。
1	教室	それぞれの担当場所を決め、取材の準備をする。		取材に行ってまちの良さをたくさん見つけたいな。写真を撮って、写真入りのカードにしたいな。
8	学区	それぞれの担当場所に分かれて、取材をする。		お店の人にインタビューしたら、人気メニューを教えてくださいましたよ。お店の写真が撮れたから、カードにのせたいな。
10	教室	取材したことをもとに、カードを制作する。		自分たちのまちには良さがたくさんあることを再発見できたよ。このカードを使って、たくさんの人に遊んでもらいたいな。

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>普段過ごしているまちで、魅力を再発見できるようにまち探検の時間を十分に確保した。また、まちのことを題材にした「カナかる」を実際に遊んでみることで、自分たちのまちの良さを伝える方法として、カードゲームがあるということに気付くような場面を設定した。カードゲーム作りをゴールに設定してからは、たくさんの種類のカードゲームを実際に体験することで、そのゲームの良さやルールの分かりやすさ、楽しさなどを整理しながら、もつにするゲームの方向性を決めていくことのきっかけとした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>まち探検に行く前に、教員が事前にそれぞれのお店に連絡をし、今回の取材の趣旨を説明した。しかし、それぞれ定休や営業時間が異なるため、取材の実施が難しかった。インタビューを快く引き受けてくれたお店も多いが、写真のみの対応で、実際に話を聞くことが難しいお店もあった。子ども達の活動としては、取材をすることで、魅力を再発見するための手立てとしたかったが、十分な活動にするためには少し課題が残った。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>まちの良さを再発見するきっかけとなった。実際にカードにまとめることで、限られた文字数や、カードの大きさの中で「何を伝えたいのか」「このまちの良さは何なのか」ということを吟味している姿が見られた。思考錯誤を繰り返す中で、まちの良さを知り、「こんな素敵な場所を多くの人に伝えたい」という思いをもつ子が増えていった。</p> <p>自分たちで一つのカードゲームを作り上げたという達成感も得られた。相手意識をもって、カードに振り仮名をつけ、誰にとっても使いやすいかという視点をもって活動に取り組むことができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>教師目線でも知らないお店を知ることができたり、初めてのお店で買い物をしてみたりと、子どもと一緒にわくわくする活動となった。今回の発見したまちの良さは、他の学年の学習でも生かしていけると強く感じている。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今回は、区役所や市役所の方との関わりがなかったが、もっと広い範囲で「まち」というものを捉える場面も必要だったのではないかと感じた。自分たちが思うまちの魅力と、行政の方が感じるまちの魅力、様々な立場で多角的に考えていくことで、活動の質がもっと高まっていくと思った。</p>